

うえだ 環境市民会議 News

第43号
ニュース

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、市生活環境課の窓口で配布しております。

発行：うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16
上田市生活環境課内

電話：0268-23-5120

FAX：0268-22-4127

E-mail seikan@city.ueda.nagano.jp

参加者大募集！ 秋の森に出かけよう！

菅平高原の涼しい森で自然に親しみながら、
みんなで楽しく昼食を作って、いただきましょう。

日 時 ● 9月12日(土) 9:00 ~ 15:30

会 場 ● 菅平高原の森または周辺

対 象 ● 大人と子ども(年中～小学6年生)

人 数 ● 定員40名(応募者数が多い場合は、先着順)

持 ち 物 ● 飲み物(水筒など)、軍手、帽子、タオル、雨具(カッパ等)、
マイ食器(箸、皿、おわん、コップ)、その他必要なもの

服 装 ● 長袖・長ズボン(必須)、汚れてもいい服装・靴

参 加 費 ● 大人1,800円、子ども1,500円

集合時間 ● 9:00

集合場所 ● 上田市役所本庁舎前(小雨決行)

申込方法 ● 氏名・年齢・電話番号を下記問い合わせ先へ
電話かFAXでお申し込みください。

申込期間 ● 8月10日(月)～8月31日(月)

主 催 ● うえだ環境市民会議

協 力 ● NPO 法人やまぼうし自然学校

問い合わせ ● 事務局(生活環境課) 担当/高橋

電話 0268-23-5120 FAX 0268-22-4127



去る6月28日に小水力発電見学ツアーが自然エネルギー上小ネットの主催で実施され、竹花さんの小水力発電と染屋浄水場の小水力発電を約20名が見学しました。そのときの感想をお寄せ頂いたので、掲載します。

小水力発電見学ツアーに参加して

上田地球を楽しむ会会員 早川潤

以前から地元には流れる水路を発電に活かさないものかと考えていましたが、自然エネルギー上小ネット主催の小水力発電見学ツアーを知り、参加の申し込みをしました。はじめに訪れた丸子の依田川支流では、竹花さんが作製した小水力発電装置が想像した以上の水量の場所で回っていて、これでやっと20Wなのかと、意外と発電量が少ないというのが第一印象でした。驚いたことは100W電球を点けたと同時に水車の勢いが止まらなばかりに遅くなったことでした。「明るさ」

の抵抗が水車の羽根を止めているのです。電気エネルギーを視覚的に体感できたことは大きな収穫でした。

次に訪れた染屋浄水場の小水力発電装置の見学でも、市職員の分かりやすい解説で大変勉強になったことと併せ、普段は立ち入る機会がない施設の見学も有意義なものでした。

後日、バイオマス分科会の太田さんの仲介で、竹花さんに地元の水路調査にきていただきました。ツアーの計画から実行まで、携われた皆様に深く感謝申し上げます。



▲竹花さんがつくられた小水力発電装置



▲小水力発電の説明をする竹花さん（右端）



▲染屋浄水場の小水力発電装置を見学

上田で感じる小水力の未来

上田市民エネルギー理事長 藤川まゆみ

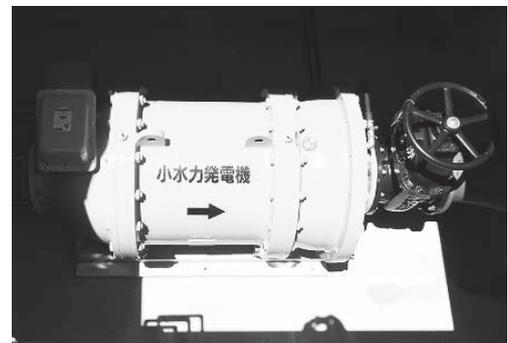
先日梅雨の晴れ間、夏のような日差しの中、自然エネルギー上小ネットの主催で、上田市内の小水力発電の見学会に参加しました。小水力発電を身近で拝見するのは初めてで、とてもワクワク、そしてなんだか晴れやかな見学会でした。

最初に向かったのは丸子腰越の竹花さん(竹花さんは風車の開発でも有名な方です)宅の近くの依田川支流の小川です。小川といっても急な流れで、もし飛び込んだらおぼれそうなすごい勢いです。そこに竹花さん開発のヨクシャと名づけられた水車がセットされていました。轟々という流れの中で、水車の羽が見えないくらいの勢いで回転しています。もうそれだけで水の流れはエネルギーなのだ感じられました。白熱灯とLEDとを負荷としてつなげた場合の比較では、回転の速さの変化で断然LEDは負荷が軽いことがわかります。竹花さんが「これは20Wの白熱灯を灯す容量の水車ですが、上田には千曲川があります。

これからの可能性を夢見ましょう。」とキラキラした目で語ってくださったのが印象的でした。そう、今はささやかでも、将来に渡って自然エネルギーの導入のポテンシャルは大きいです。一步一步止まらずに進むことが大事だと改めて元気をいただきました。

次に染屋の浄水場へ向かい、今度は50kW程度の小水力発電機の見学です。大きさとパワーの違いを施設の規模や音の大きさで感じました。震災前からの計画でしたが、一時は採算が取れないことがわかり中止に。でもその後FITが開始され、採算の目処がついて実行となりました。上田市の先見の明ですね！

調査をしていたからこそそのすごいタイミングで全国初の浄水場での小水力発電が実現した上田市、全国にアピールしたいですね。



▲染屋浄水場の小水力発電装置



▲染屋浄水場の小水力発電電力等

「別所線クリーン大作戦」

うえだ環境市民会議 竹内秀夫

去る6月6日に「別所線クリーン大作戦」をうえだ環境市民会議が主催し、26名の方に参加して頂きました。これは、別所線上田駅から別所温泉駅までの往復切符を各自で購入し、ひとりでも別所線の利用者を増やすことと、文字通り別所線の各駅をきれいにすることを目的に始めた取り組みで、今年で4回目になります。参加者の中には、ローカル線の存続を願う方々が関東や関西方面から手弁当で駆け付けてくれました。



▲別所線上田駅で竹田議長挨拶

初参加の方の感想を記します。

[城下駅] 地元の方から清掃の仕方を教えて貰った。ごみは少なかった。

[三好町駅] 草がたくさんあった。

[寺下駅] 手で抜けない草があった。

[神畑駅] パチンコ100万ドルの2名が参加してくれた。ごみは少なく、草取りをした。

[大学前駅] 外来種のオオキンケイギクが多かった。

[中塩田駅] 水道が壊れていた。

[中野駅] ごみは少なく、草取りがメインだった。



▲三好町駅での清掃の様子



うえだ環境市民会議の今後の予定

10月3日(土) 上田駅前清掃

10月24日(土) うえだ環境フェアに参加(会場:創造館)

11月28日(土) 環境をよくしたいひと大集合(会場:塩田公民館)

